

県下の交通事故

(平成7年6月20日現在)

区分	発生件数	死者	傷者
年別			
平成6年	2,241件	61人	2,924人
平成7年	2,369件	42人	3,134人
比較	+128件	-19人	+210人



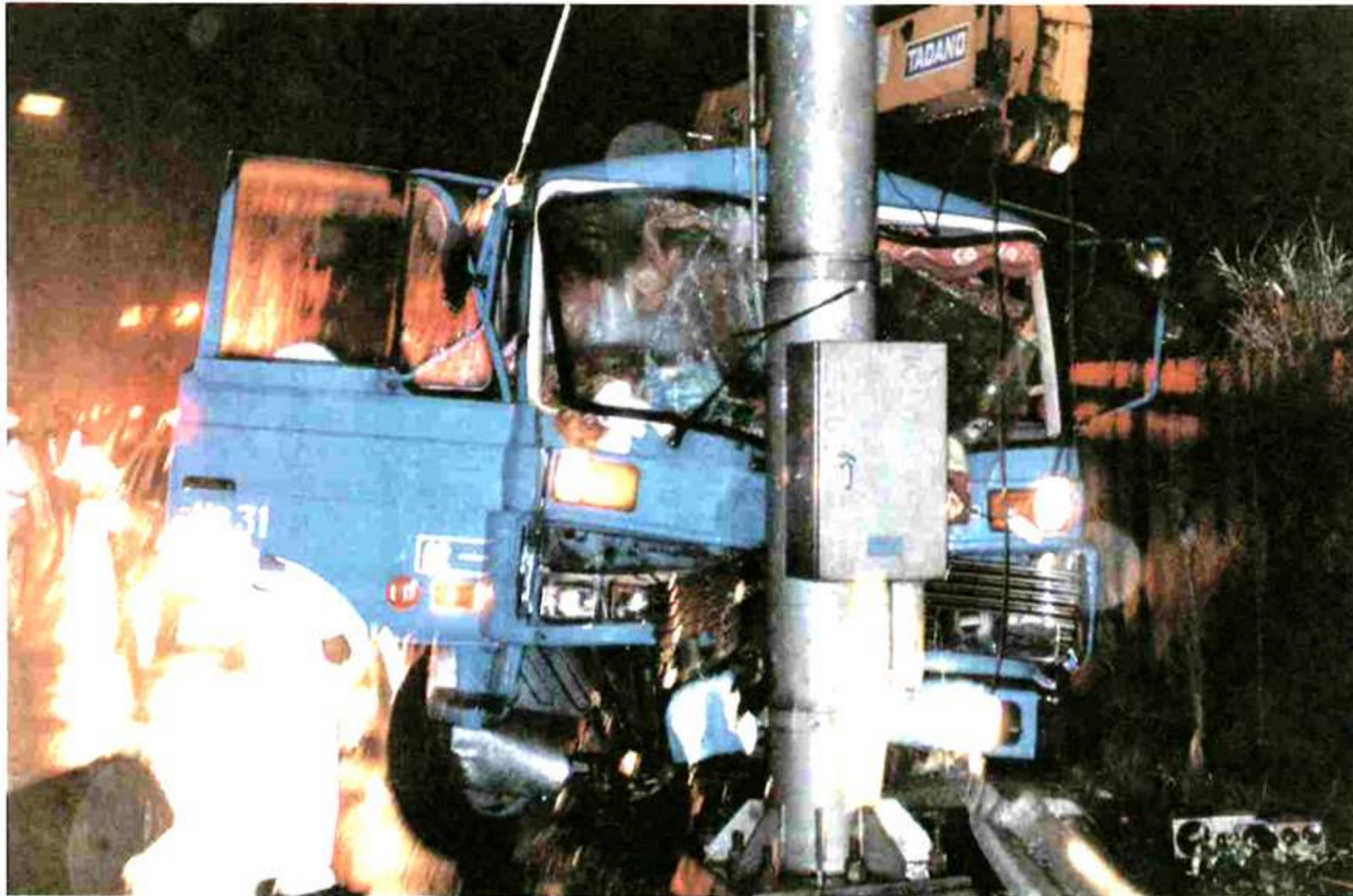
◇ 第108号 ◇  
 発行所  
 〒400 甲府市丸の内一丁目9-11  
 県民会館2階  
 財団法人 山梨県交通安全協会  
 TEL 甲府 (0552) 32-4682  
 (0552) 37-7827

運動の重点

- 一、シートベルトの着用の徹底
- 二、若者の無謀運転及び暴走族の追放
- 三、子どもと高齢者の交通事故防止

夏の交通事故防止県民運動

7月21日(金)から  
 8月20日(日)まで



スピードの出し過ぎで鉄柱に激突、雨の夜の高速道路は怖い

この運動は、夏の行楽シーズンと児童・生徒の夏休みが重なり、季節的に交通事故の多発、暴走族の激化が予想されることから、県民一人ひとりに交通安全知識を普及して交通安全思想を高め、交通ルールとマナーの実践を習慣づけて交通事故防止と暴走族の追放を図ろうとする山梨県独自の運動です。

安全は県民一人ひとりが主役

県内の今年の交通事故発生状況は、六月二十日現在死者は四十二人で、昨年より十九人も少いという大変喜ばしい状況にあります。発生件数は二千三百六十九件で百二十八件増、傷者は三千百三十四人で二百十人も大幅増となっております。死亡事故へ転じてもおおかしくないといった危険な状況にあります。毎年下半期には死亡事故が多発していますが、特に七、八月中は、暑さによる疲れや行楽車両の加わる大量走行で、ここ数年来月間死者は二桁となっています。

- 死亡事故では着用率一・五％で、非着用死者十四人のうち着用していれば四人は助かったとみられています。
- 若者の無謀運転の追放  
若者(16~24歳)が第一当事者となった死亡事故は十二件で、十三人が死亡しています。スピードの出し過ぎ、前方不注意が原因です。暴走族の追放
- 高齢者の交通事故防止  
六十五歳以上の死者は十二人、歩行中が六人、自転車乗車中が三人です。今年の死者は、若者と高齢者で二十五人、六〇％にも達しており、歩行者二十人、自転車乗車中三人で、この計二十三人は五四・八％にもなります。また、夜の事故死者は三十人で七二％にも上っており、夜は危険です。

交通ルールを守り

快適な車社会の実現を

県警交通部参事官

清水 収



県民のみならず、高い交通安全意識をもって交通ルールを守り、交通マナーを向上させて、交通事故絶無の輪を家庭・地域・職場に広げてゆき、安全で快適な車社会の実現を目指して頂きたいと思っています。

昭和四十年に代から急激に進んだモータリゼーションの波を受けて現代生活は、衣・食・住・バス車といわれるようになり、車は我々の足として欠かせないものとなつてきました。また、車による利便性の向上は、我が国の経済に大きな変革をもたらし、我々の暮らしを豊かにするとともに、日常生活の多様化と行動圏の拡大などを可能にしています。しかし、一方では、車の社会の到来が「交通戦争」とも言える大変慮すべき状況を招いていること

も事実です。昨年の全国の交通事故死者数は、一万六百四十九人と昭和六十三年から七年連続して一万人を超え、傷者には八十八万一千人にも達しており、本県の人口を上回るとなっています。本県の昨年の交通事故は、前年に比べて発生件数は、死者は若干減少しましたが、死者については百十四人となり、死者の増加率は全国ワースト第一位になってしまいました。

ハルマゲドンに始まり、お布施強要の拉致監禁から銃器の密造、サリンや細菌兵器の開発、さらには地下鉄・松本サリン事件そして、オウムに反する者はボアセよ。報道の都度エスカレートしていく想像を越えた悪行には、肌寒さを覚えるとともに、その思い入れの凄まじさにたゞ唖然とするばかりです。

▼教祖についてはその半生から、コンプレックスと誇大妄想症によるものだと専門家はみているようですが、有名大学出の青年科学者たちまでが、何故にオウムに心酔し、宗教とはかけ離れた稚拙な計画遂行にとり込まれていったのかは、理解に苦しむところ。論評を総合すると、自分さえよければの自己本位の固まりであり、我欲実現だけに汲々とするバランス感覚の欠けた未成熟な若者ということのようです。

▼自分さえよければ...といえは、交通の場にもルール無視の不調和な行動が目立っています。当然とばかりに右側を走る自転車、深夜の静寂を破って走るバイク等々、二十歳前後の若者に多いこうした愚行には眉をひそめさせられます。

▼交通事故防止は、自我を押し、相手の立場を考え、人に優しい心使いから始まります。お互いに心して悲劇を少なくしたいものです。

ハルマゲドンに始まり、お布施強要の拉致監禁から銃器の密造、サリンや細菌兵器の開発、さらには地下鉄・松本サリン事件そして、オウムに反する者はボアセよ。報道の都度エスカレートしていく想像を越えた悪行には、肌寒さを覚えるとともに、その思い入れの凄まじさにたゞ唖然とするばかりです。

# 安全へ強力な事業推進

## 平成六年度の事業・決算承認

### 県安協理事・評議員会議開く

県交通安全協会は、五月二十三日甲府市古屋ホテルで理事・評議員会議を開き、平成六年度の事業報告及び収支決算報告を承認しました。今年度は役員改選期ではなかったため、役員人事はありませんでした。

理事・評議員会議では、志村哲良会長が「秋山登副会長（甲府安協会長）が代理を務め、開会にあたり、秋山副会長が志村会長から寄せられたメッセージを代読しました。」と挨拶しました。



理事・評議員会議の状況

「春の全国交通安全運動は、統一地方選挙の年であることから一カ月遅れで五月に行われたが、真剣に取り組まれた各位のご苦労に感謝する。」

期間中の交通事故は昨年より減少しており、喜ばしい成果となっているが、運動の第一の重点とされていたシートベルトの着用については、昨年より着用率が減少しているとのことであり、一層の努力が必要とされている。

今後とも衆知を集め、より一層有効な交通安全の活動をすすめていくこと

- 一 交通安全運動の実施
  - (一) 春・秋の全国交通安全運動で、黄色い羽根・ポスター・ビラ等配布
  - (二) 夏・年末年始交通安全県民運動に賛助
  - (三) 二交通安全功労者表彰
  - (四) 関東管区安協連表彰
  - (五) 20東京虎ノ門バス
  - (六) 優良協会の表彰
  - (七) 優良指導員表彰
  - (八) 11・19免許センターで特指二人、指導員五人、準指六人を表彰
  - (九) 県安協表彰式
  - (十) 11・29県民会館で〇管区表彰伝達、二団体十一人、〇緑十字銅章伝達百四十人、〇県安協等表彰、二十団体、三百五十九人を表彰
  - (十一) 第34回交通安全全国国民運動中央大会での表彰

- 7・1・13日比谷公会堂で緑十字金章一人、銀章五人、優良団体六名（含み安協）が受賞
- (五) 全日交優良指導員表彰
- (六) 全日交優良指導員表彰
- (七) 7・3・7虎ノ門バス
- (八) ストラルで特指・指導員各一人が受賞
- (九) 三二輪車・自転車交通安全
- (十) 全対策の推進
- (十一) 春・秋の全国交通安全

## 平成六年度事業報告

- 運動で街頭指導を実施
  - (一) 4・25県一推委員・幹事合同会議、5・10高校生原付講習打合せ、5・16県自転車安全推進委員・幹事会議開催
  - (二) 5・29第24回二輪車安全大会を開催
  - (三) 全連大会を開催、優勝者七十人が参加
  - (四) 7・10第36回県下中学生交通安全弁論大会を開催、弁論要旨集発行
  - (五) 夜間交通事故防止用反
- なまこライダー、自転車用ステッカー等配布
- 交通安全啓発宣伝活動
- 他団体主催の9・25交通安全大会、10・13交通安全大会、10・13交通安全大会
- 10・26第36回県下中学生交通安全弁論大会を開催、弁論要旨集発行
- 九百七十一件等

## 千野氏ら10人と市川安協 関東管区表彰に輝く



虎ノ門バストラルで記念撮影

関東管区交通安全協会連合会（三鬼彰会長）の平成七年度交通安全功労者表彰式が六月二日、東京虎ノ門バストラルで開かれ、交通安全功労者、優良交通安全協会、優良職員の表彰が行われました。

交通安全功労者は千野友造（甲府安協副会長）以下十氏で、ご夫人にも内助の功により管区安協連合会長から感謝状が贈られました。

また、優良交通安全協会（八木吉治会長）が受賞しました。

本県関係の受賞者は次のとおりです。（敬称略）

○交通安全功労者 千野友造（甲府）、萩

## 毎月十四日は シートベルト着用推進の日

通部長から、春の全国交通安全運動の実施結果を中心とした県内の交通安全情勢と展望についての講話を聴講して、閉会しました。

各理事・評議員は、死亡事故多発の下半期に入るため、心新たに取り組みをもうと誓い合いました。

## 死者・傷者とも減少

### 春の全国交通安全運動終了

春の全国交通安全運動は、今年は統一地方選挙を避けて五月十一日から二十日の十日間、運動重点を、シートベルトの着用、子どもと高齢者の交通安全の徹底、二、子どもと高齢者の交通安全の徹底、三、スピードの出し過ぎ、四、スビードの出し過ぎによる交通事故防止として、県民総ぐるみで取り組まれましたが、その結果は次のとおりです。

○ 多彩な行事等への参加者は、警察官二五九〇人、

死者一人（一人増）傷



選手宣誓をする参加チームの代表

六三二チームが無事故・無違反を競うチャレンジ二〇〇開始式

県安協対策推進協議会主催、県警察、県安協等交通関係機関、団体協賛の「平成七年度セルフティードライブ・チャレンジ二〇〇」が、六月十五日スタートしました。十二

★全車種（大型・普通・自二・けん引・大特・第二種免許）の免許の取得ができます。

★早朝・夕方・日曜その他あなたの生活条件に合わせた教習が受けられます。

★ご希望により送迎もいたします。

財団法人 山梨県交通安全協会経営

**公認 山梨自動車学校**

中巨摩郡八田村野牛島1828  
（運転免許センター内）  
TEL (0552) 85-0752

### 全日交等の会議

関東管区安協連合会 六月二日都内虎ノ門バストラルで総会を開き、平成七年度の事業計画と予算を承認しました。

全日交理事・評議員会議 六月五日東京会館で開き、平成七年度の事業計画と予算等を承認しました。

# 真夏の安全運転のポイント

楽しい夏がやってきま  
した。真っ青な空と海、  
白い雲、照りつける太陽  
あぶら蟬の声、そして夏  
休み、海水浴、帰省……。  
待ちかねた夏の到来で  
すが、暑さで身体は如り  
夜ふかしがすすみ、疲労  
が溜まり、一方ではレジャ  
ー交通で車の大量走行と  
多発する夏場の交通事  
故に巻き込まれないよう  
安全運転のポイントをま  
とめました。

## 夜ふかし、疲労は禁物 7~8月は大事故多発

なり、灼熱の炎天下での  
渋滞で我慢を強いられる  
等々、それでも出かけて  
行くこととなります。  
こうしたことから、  
毎年七・八月中は交通事  
故が増え、下半期の増勢  
傾向に先鞭をつけていき  
ます。

特に高速ではハザード  
ランプをつけて知らせ  
る。  
渋滞の中で、前車から  
目を離さない。  
⑧夜間走行で対向車がな  
ければ上向きライトを  
県内では、夜間の横  
断中の歩行者事故が増  
えています。  
⑨夜間のすれ違い後に注  
意  
対向車のうしろに横  
断者がいることが多い  
ので注意してください。  
⑩帰り道では一層の注意  
を  
疲れも溜まり、注意  
が散漫になりがちです。  
交通事故に遭っては、  
楽しい夏も一転して暗黒  
となります。気をつけま  
しょう。

暴走族の追放に  
県民のみなさんの お力を!!  
爆音走行車を  
見たら聞いたなら 一一〇番

サラリーマン家庭で  
いちばんのんびりでき  
るのは、金曜日か土曜  
日の夜の日です。  
明日は休みだと思っ  
るとつい遅く  
までテレビ  
を見たり話  
しこんだり  
してしま  
います。そし  
て翌日は  
朝寝坊です。  
共働きA子さんご  
夫婦も多間にもれず  
そうした日曜日の朝で  
した。

### シグナル

しかし子供はそうは  
いきません。五歳にな  
る男の子が早くから目  
を覚まして起きたがっ  
ていました。母親が  
起きてくれないことが  
わかると一人で起きた  
と、二大変です。お宅  
の坊やが車に「」の  
して隣の部屋でテレビ  
を見ていました。  
そのうち「お母さん  
アイスクリームがたべ  
たい。お金ちょうだい」  
というので、A子さん  
は寝ぼけ顔で「お金、  
とどび起きたのです。  
パジャマ姿のまま表  
にかけ出したA子さん  
ご夫婦は、財布を握った  
まま冷たくなっていくわ  
が子を見たのでした。  
これは、以前ある県  
警署で、五月二十八日  
県大会が、五月二十八日

### 日曜日の朝の事故

で実際にあった事故です。  
共働き家庭の悲しい  
事故ですが、この中  
には反省しなくてはい  
けない教訓がいくつあ  
るように思います。特  
に幼い子供に財布を持  
たせて表に出した、こ  
こに大きな落とし穴が  
ありました。  
人ごとではありません  
ん。わが家はどうか、  
自分はどうか、お互い  
にもう一度反省したい  
ものです。  
(県警本部交通管理調査  
員 丸山 誠吾)

## 県代表に万沢小(連続2回) 交通安全子ども自転車県大会



百点)の二種類を計千  
点からの減点方式で競  
合い、息づまる熱戦を  
くりひろげました。  
この結果、団体では、  
高田町立万沢小学校Aチ  
ームが、上位三選手の合  
計三千二百七十五点とい  
う高得点で、連続二回、通  
算四度目の優勝を果たし  
、全国大会への出場権を勝  
ちとりました。  
個人では、万沢小学校  
の望月涼子(六年生)選  
手が、減点僅かに五  
千九百五十五点で優勝、二  
位は優勝者と同得点でし  
たが表技テストで五秒遅  
れた同校の望月秀典(六  
年生)選手となりました。  
学科テストでの満点者  
は昨年は二人でしたが、

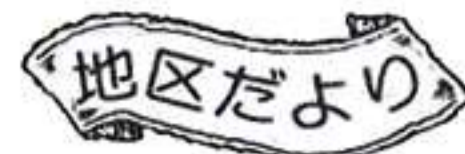
## ライダー75人が競う 二輪車安全運転県大会



八田村の運転免許センター  
で開催されました。  
参加者は日ごろ二輪車  
を愛用している七十五人  
で、昨年の参加者をさら  
に上回る盛況でした。  
競技は、一般B(四〇  
ccを超えるもの)・  
一般A(四〇cc以下)  
・高校生(一二五cc以  
下)・女性(一二五cc  
以下)の四クラスにわ  
かれて安全(法規)走  
行と技能走行の二種類  
で競われました。  
各クラスでの優勝者  
は八月五・六日の両日  
三重県鈴鹿サーキット  
で行われる全国大会へ  
本県代表として出場す  
ることになっています。  
全国大会で個人優勝す  
るとヨーロッパ視察団の一  
員として派遣されます。  
県代表の四人は、目

- 六人も出るという好成绩  
であり、全競技を通じて  
各校選手の健闘が称賛さ  
れました。
- 優勝した万沢小学校チ  
ームは、八月一、二日の両  
日、東京で開催される全  
国大会へ出場しますのでご  
声援ください。
- 入賞した団体・個人は  
次のとおりです。
- 【団体】  
優勝(知事賞) 万沢小学校(A)  
準優勝(県協議会長賞) 万沢小学校(B)  
" (警察本部長賞) 高根東小学校  
" (県教育長賞) 曙 小学校  
" (県協会会長賞) 敷島南小学校(B)
- 【個人】  
優勝(警察本部長賞・県  
安協会会長賞) 望月涼子(万沢小)  
準優勝(望月秀典) 望月秀典(万沢小)  
" (遠藤 学) 渡辺天士  
" (望月拓也) 望月拓也(万沢小)  
六位川崎美純(曙小)、  
七位佐野洗基(万沢小)、  
八位鈴木英治(高根東小)、  
九位望月謙太(万沢小)、  
十位内田昌裕(万沢小)  
【学科テスト満点者】  
○浅井香里(曙小)○川  
崎美純(望月秀典)○望月秀典  
(万沢小)○内田昌裕(万沢小)  
望月弘貴(万沢小)

自動車や原付自転車には  
必ず任意の損害保険を  
つけよう。  
損害保険代理店  
株式会社 たいよう共済山梨支店  
甲府市丸の内2丁目32-13  
日 東 ビ ル 4 階  
TEL 0552-28-0691



春の全国交通安全運動特集

各地区交通安全協会では、各種活動の中心となつて活躍いただき、本当にご苦労さまでした。期間中の皆さんの活躍ぶりをご紹介いたします。思いを新たに、これからの地域での交通安全活動に、さらなるご健闘を念じております。



街頭指導所で安全運転を呼びかける(富士吉田)



新制服でパレードする幼児交通安全クラブ(甲府)



交通安全教育ゲートボール大会(大月)



山梨市駅前黄色い羽根配りに集まる(日下部)



反射材の効果を学ぶ増穂町老人クラブ会員(増穂)



街頭指導所で安全運転を呼びかける(南甲府)



丹波山村交通安全大会で衝撃体験(上野原)



警察署前で街頭指導(塩山)



富沢町の富士バイパスで街頭指導(南部)



白根町での街頭指導の状況(小笠原)



太田公園前で二輪車の街頭指導中の二輪車指導員(二輪)



交通安全教育ゲートボール大会(都留)



下部温泉玄かくし湯まつりでPR(市川)



JR韮崎駅前黄色い羽根を配布(韮崎)



幼児交通安全教室で学ぶ子どもたち(石和)



JR長坂駅前で黄色い羽根を配布(長坂)

この大会は、今年三月緑が丘地区の高齢者が道路を横断中に無免許運転のオートバイにひかれて亡くなるという悲しい事故があったことから春の全国交通安全運動を前に開かれたものでした。大会には、甲府警察署土橋署長、甲府市交通対策課室井課長、甲府交通

甲府交通安全協会(秋山登会長)の緑が丘支部(石川中光支部長)では、緑が丘自治会と緑が丘老人クラブの協力を得て五月十日午後緑が丘地区高齢者交通安全宣言大会を開きました。

高齢者交通安全を宣言 甲府安協・緑が丘支部

安全協会秋山会長等が来賓として臨席、緑が丘地区の高齢者等約八十人が参加して主催者側あいさつ、来賓祝辞のあと、甲府警察署交通課志村巡查



高齢者交通安全宣言大会(緑が丘公民館)

安全に一層の努力をしていくとしたのち、運動者も心を新たに安全運転に努め、関係機関も交通安全施設整備に心掛けて欲しいと訴える内容の交通安全宣言を朗読し満場一致で採択されました。一日も早く静かな町を取り戻して欲しいものです。

部長を講師として「どうしたら交通事故が少なくなるか」と題する講話を熱心に聴講しました。

最後に、緑が丘自治会長星野寛幸、緑が丘老人クラブ会長日原国男の両氏が「仲間の交通事故死を無駄にするな」を合言葉に、高齢者自らも交通安全に、高齢者自らも交通安全に一層の努力をしていくとしたのち、運動者も心を新たに安全運転に努め、関係機関も交通安全施設整備に心掛けて欲しいと訴える内容の交通安全宣言を朗読し満場一致で採択されました。

六年生の活躍に期待

増穂小で交通少年団結成

増穂町立増穂小学校(菅澤正巳校長)は、増穂警察署(小林辰男署長)の指導と諏訪交通安全協会(長澤由弘会長)の協力のもとに四月五日、増穂小学校体育館で在校生八百五十六人を団員とする交通少年団を結成しました。結団式には小林諏訪警察署長、田中増穂町長、長澤諏訪交通安全協会会長等が臨席、増穂小学校六年生百五十六人等約百八十人が集まって盛大に行われました。

結団式では、菅澤校長、小林署長、田中町長から登下校時等の交通事故防止と六年生は見識をもって、最後の、同校児童会長の六年生笹本ころさんが「私たち増穂小学校児童は交通のまきりを守り事故にあわないよう気をつけます。」と誓いの言葉を朗読して終わりました。

交通安全の普及を図るため、ゲートボールの一般ルールに交通ルールを織りこんだゲートボール大会が各地で行われていますが、これまで使われてきた「交通安全教育ゲートボール」の名称は、平成七年七月から、「交通安全教育グレースボール」と改称されることになりましたので、ご注意ください。

グレースボールに名称変更

これは、(財)日本交通福祉協会が、規則を定めて「交通安全教育ゲートボール」としていたものでしたが、日本ゲートボール連合会から、ゲートボールの一般ルールと若干異なる、競技の場で混乱を生ずるおそれがあるとの理由で名称変更の要望があったことから改称したものです。

幼児交通安全服を制定

甲府安協 甲府交通安全協会(秋山登会長)では、甲府幼児交通安全クラブに所属する幼稚園児の服装を検討していましたが、五月八日、園服の形をしたクリーム色、両腕に反射材の腕章が付けられた交通安全服(写真)を作って園児に配布しました。



この安全服の経費の大半は、甲府交通安全協会の要請に応じてくれた甲府市七ロータリークラブの協賛によるもので、園児をはじめ保護者等からも極めて好評で、深く感謝されています。

婦人部の活動

反射材の展示即売 南甲府安協・婦人部 (鷹野正慈会長)の婦人部(岡美恵子部長)では、六月十一日(日)昭和町立押原小学校で行われた交通安全子ども自転車山梨県大会の会場で、反射材即売所を開いて反射材の普及販売にあたりました。当日は、南甲府安協婦人部の岡美恵子部長以下四人の役員と地元安協昭和支部婦人部の森田美枝婦

子ども自転車大会会場にて反射材販売(押原小) 部長の五人が取り組んで、反射カールバンド、自転車用光輝度ステッカー、反射ワッペン式帽子等合計三十点が販売されました。ご苦労さまでした。

